

マレーシア便り (第10回)

平成 27 年 2 月 27 日

兵庫県立津名高等学校
理科 物理担当 井俣 由貴史

こんにちは。冬の寒さも和らぎ、本格的に春を感じることができる頃になってきたでしょうか。日本ではB型インフルエンザが流行していたと聞きましたが、大丈夫でしたでしょうか？

もうすぐ、卒業式ですね。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。卒業生とは1年会っていませんから、この1年間でのような飛躍をしたのか、いつの日か会えることを楽しみにしています。卒業生のみなさん、夢に向かって元気に羽ばたいてください。そして、校歌にあるように「人」になってください。

さて、マレーシアでは学生の大学配置が決定されました。関西方面では名古屋、名古屋工業、三重、京都工芸繊維、大阪、神戸、和歌山、鳥取、岡山、香川、九州、九州工業、佐賀、大分、宮崎大学に入学します。これらの大学に進学する生徒がいましたら、ぜひ交流してもらえたらと思います。

2月11日(水)には修了式(卒業式)がありました。日本の卒業式と同じように一人ずつ修了証書を受け取りました。そして、私は担任として呼名をしました。例えば、「MUHAMMAD HAZIQ ASYRAF BIN MOHD TOHIR」のような名前です。普段はニックネームで「ジック」と呼んでいますが、当日は本名なのでとても長いです。そして、マレーシア語の発音がとても難しかったです。何回もローカルの先生に指導されました。みんな達成感いっぱい、元気よく巣立っていきました。

先日、ローカルの先生との会議がありました。このプログラムは約2年間を通して4学期制です。1学期は日本人による日本語の授業と、ローカルの先生による数学、物理、化学、英語の授業です。物理は講義2時間と問題演習1時間です。そして、2学期から数学、物理、化学の授業は日本人が行っています。それが今回の会議で、1学期の問題演習の授業は日本人が行うことになりました。1学期の段階では生徒は全く日本語はできないので、私たち日本人の教科の教員はフルの英語になります。頭が痛くなりそうです。頑張って英語で話したいと思います…

次はマレーシアの祝日についてです。2月3日(火)はThaipusam(タイプーサン)といって、ヒンズー教のお祭りの日です。ヒンズー教徒が苦行をすることで、神々への感謝を示すらしいです。とても重たい御輿を担いで行進したり、針や串を頬や背中に刺して、それに荷物を吊るしたり…この苦行は危険を伴うため、インドでは禁止されており、マレーシア以外ではシンガポールでしかThaipusamは行われていないみたいです。苦行の詳細な写真を見たい方はぜひ検索してみてください。

2月19日(木)は中国正月(Chinese New Year)でした。中国正月はおめでたい色の赤色と金色で装飾をします。そして、18日(水)の大晦日の夜、当日には花火があがり、路上では爆竹が鳴り響きます。爆竹は見たことのないくらい大量です。マレーシアでは中国系の店や屋台が多くありますが、この中国正月を挟んで1週間くらいは休みなので、とても街が寂しくなります。

【修了式】



会場にて



自分のクラス

【タイプーサン】



ヒンズー教の寺院 Batu Cave
(バトゥーケイブ)

[左上]

タイプーサンの人の多さ

[右上] (苦行)

とても重い御輿を担いでいる様子

[左下] (苦行)

背中に針を刺して、物を吊るしている様子

【中国正月 (Chinese New Year)】



天后宮 (中国系の寺)



ショッピングモール内